

講義名	比較流通制度特論			授業形態	
担当教員	秦 洋二	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本講義の目的は、日本の流通システムとそれを取り巻く諸制度についての理解を深めることです。流通制度と言っても、実際にはその内容は非常に多岐にわたっており、その全てを取り扱うことはできません。本講義では、特に政府の行う流通政策と、事業者によって作られた商慣行に焦点を当てます。一般に前者はフォーマルであり、後者は反対にインフォーマルであることに特徴があります。しかし、この両方が作用して流通システムが機能しているという意味では、流通政策と商慣行は流通システムを動かす車の両輪と見てよいでしょう。日本の流通政策や商慣行の変遷は、社会・経済情勢の変化とも密接に関連しており、そうした背景的知識についても本講義では積極的に取り上げます。

到達目標

- 日本の流通システムの背景にある流通制度の特徴を理解できる。
- 日本の流通システムが抱える諸課題について検討し、その解決策を提示することができる。
- 日本の流通システムと流通制度の特徴を他地域と比較し、分析することができる。

提出課題

毎回テキストの内容をまとめた小レポートを提出して頂きます

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義中に解説を行います。

評価の基準

毎回の小レポート 100%

履修にあたっての注意・助言他

関連文献に広く目を通すようにしてください。

教科書	流通政策入門 第5版 - 市場・政府・社会	渡辺達朗	中央経済社	3190	9784502446016
-----	-----------------------	------	-------	------	---------------

参考図書

その他

授業計画

1. イントロダクション
2. プレゼンテーションとディスカッション
3. プレゼンテーションとディスカッション
4. プレゼンテーションとディスカッション
5. プレゼンテーションとディスカッション
6. プレゼンテーションとディスカッション
7. プレゼンテーションとディスカッション
8. プレゼンテーションとディスカッション
9. プレゼンテーションとディスカッション
10. プレゼンテーションとディスカッション
11. プレゼンテーションとディスカッション
12. プレゼンテーションとディスカッション
13. プレゼンテーションとディスカッション
14. プレゼンテーションとディスカッション
15. 総括

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：テキストを精読し、論点を整理した上で小レポートをまとめる（2時間）
- 復習：講義中の議論を振り返りながら、関連文献を渉猟する（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、ディプロマ・ポリシー「理論的・実証的な課題を研究するために必要な科学的方法論を身につけていること」及び「研究者として、流通科学諸分野における豊かな学識と研究能力を身につけていること、または高度専門職職人として、より実践的・課題解決的な能力を身につけていること」に関連しています。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
